

平和の鐘を鳴らそう 2020



8月15日午前10時30分から広島平和記念公園「平和の鐘」の前で、広島ユネスコ協会会員や広島大学付属高等学校生（67年前からユネスコ活動を行っているユネスコスクール）らが参加し、「平和の鐘を鳴らそう2020」を開催しました。今年は終戦から75年目という節目の年でした。松岡会長の開会挨拶に続き、広島大学付属高等学校生2人が、貴重な平和のメッセージをスピーチしてくださいました。新型コロナ感染防止のため、3つの密を避け、本意ではありませんが規模を縮小して行いました。

「平和の鐘を鳴らそう」は、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の平和の国際文化活動の一環として、2000年から日本各地のユネスコ協会が、戦争や貧困等のない21世紀を目指し、行っています。

広島、長崎は75年前の8月に原爆の投下により、甚大な被害がありました。戦争や原爆、災害などにより命を失われた多くの方々を慰靈し、戦争や核兵器、貧困等のない平和な世界の実現を目指に、市民の皆さんと取り組みます。あなたもともにユネスコ活動をしましょう！新会員を募集中です。

（平和・世界遺産部会長 内田一士）



司会 渡邊優子さん



松岡盛人会長あいさつ



広大附属高校 柚木優里奈さん



広大附属高校 船本祥子さん



内田一士 平和・世界遺産部会長

